

社協だより

災害時に備えた
炊き出し訓練を行いました

2月16日(月)、山鹿地区公民館において、住民課・健康福祉課・社会福祉協議会による合同炊き出し訓練が行われました。当日は屋外に大型の竈(かまど)を設置し、災害用備蓄食料を温め、避難者に食事を提供する手順を実際に確認しました。温められた白ご飯、サバの味噌煮、ハンバーグ、みそ汁は紙皿等に配膳され、「ゴールドクラブ」の皆さんに試食していただきました。参加者からは「温かい食事があると心強い」との声も聞かれ、災害時の備えの大切さを実感する訓練となりました。ご協力いただいたゴールドクラブの皆様、ありがとうございました。



令和7年度 村老連役員・友愛活動部員合同研修会

2月19日(木)、村老人クラブ連合会と友愛活動部による合同研修会が開催され、20名の皆さんが参加されました。研修会では、まず「ぼけ封じ観音」を見学し、健康長寿への願いを込めました。その後、『菊池グランドホテル』へ移動し、温泉と食事を楽しみました。会員同士の交流も一層深まり、今後の活動への意欲が高まる、有意義な時間となりました。



令和7年度 第26回 子どもヘルパー活動報告会・感謝状授与式を開催

2月26日(木)、産山学園メディアセンターにおいて、第26回子どもヘルパー活動報告会および感謝状授与式を開催しました。活動報告会では、1年間の活動記録動画の視聴後、7年生がスライドを用いて活動での成果や課題、来年度のミッションを発表し、会場から大きな拍手が送られました。感謝状授与式では、社会福祉協議会会長より今年度でヘルパー活動を終了する7年生へ、4年間にわたる活動への感謝状が贈られました。関係者の皆様のご支援により、今年度も「産山村子どもヘルパー事業」を無事終了することができました。心より御礼申し上げます。

